



English version is [here](#)

Editors:Eric Kokish
Richard Colker
翻訳:小林京子

準決勝:イギリス対久富チーム

第1クォーター

Bd: 1	NORTH		
DLR: N	♠ AKQ942		
VUL: None	♥ AK8		
	♦ QJ4		
	♣ 4		
WEST		EAST	
♠ 8753		♠ 106	
♥ ---		♥ J107642	
♦ A8752		♦ K3	
♣ AK102		♣ Q75	
	SOUTH		
	♠ J		
	♥ Q953		
	♦ 1096		
	♣ J9863		

初戦は双方のテーブルでシング、イギリスが圧勝した。

オープンルームのN(田多井)は4♣ダブルで格闘。E(ハケット)が♥Jをリードして壮絶なクロスラフが始まり、4ダウンはマイナス800。

クローズドルームではアームストロングが同じコントラクトをプレイし、同じリードとなったが、ディフェンスが途中で横道にそれた。W(寺本)はオープニング・リードをラフし、♣Aをキャッシュ。パートナーがめぼしい反応を示さない(示せない)ことから次に♦Aをキャッシュ、強腕NはQをドロップ。Wは暫くこのカードを眺めたが、結局♣Kをプレイして一巻の終わり。プラス590で16IMPの出入りとなった。

アームストロング・ハケットが6NTまでビッドし、久富は1番ボードの失点を挽回する。寺本はダブルをかけずに安全な道を選び、クラブのトップアナーを2回プレイ、Qがドロップしたことを確認してJを取り、2ダウンでプラス200。一方のテーブルでは田多井が冷静に4杆をプレイして5メイク、プラス650。13IMPを獲得して13-16と久富チームの反撃開始。

Bd: 2	NORTH		
DLR: E	♠ KJ1083		
VUL: N/S	♥ ---		
	♦ J875		
	♣ 10942		
WEST		EAST	
♠ 5		♠ 764	
♥ J1087652		♥ K93	
♦ 96		♦ 1032	
♣ AKJ		♣ 8753	
	SOUTH		
	♠ AQ92		
	♥ AQ4		
	♦ AKQ4		
	♣ Q6		

5番ボードの時点でイギリスが18-13とリード。オープンルームではハケット兄弟が5♣をビッド。田多井は♥5をリードしてパートナー(原)からスペードを2回ラフする機会を与えられ、プラス100。クローズドルームでは久富・寺本が3NTをビッド、オポネントのハートのブレイクが4-4であったことに安堵。プラス400、久富チームが11IMPを獲得して24-18と逆転。

スコアが24-19となった時にハケット家1NT戦争が勃発。

Bd: 5	NORTH		
DLR: N	♠ ---		
VUL: N/S	♥ Q952		
	♦ J10973		
	♣ 10752		
WEST		EAST	
♠ A943		♠ Q1087	
♥ 106		♥ 843	
♦ 4		♦ AKQ5	
♣ AQJ983		♣ K4	
	SOUTH		
	♠ KJ652		
	♥ AKJ7		
	♦ 862		
	♣ 6		

オープンルームではE(ハケット息子)が1NTをプレイ。原は♦9をリード、Eはクラブで2トリック目を開発することに成功したので、スペード1トリック、ハート2トリック、ダイヤモンド2トリックを勝ってプラス90。クローズドルームではハケットパパが息子にダミープレイのお手本をみせたかったのか、Sで1NTをビッド。パパも7トリックしか勝たなかったのがハケット家1NTチャンピオンの決定は今後の展開を待つことになる。イギリスが5IMPを獲得、24のタイスコアとなる。

Bd: 7	NORTH		
DLR: S	♠ Q864		
VUL: Both	♥ QJ873		
	♦ AQ		
	♣ J4		
WEST		EAST	
♠ A753		♠ 1092	
♥ K42		♥ A95	
♦ 53		♦ KJ62	
♣ A1075		♣ 983	
	SOUTH		
	♠ KJ		
	♥ 106		
	♦ 109874		
	♣ KQ62		

Bd: 9	NORTH		
DLR: N	♠ AQ93		
VUL: E/W	♥ 1043		
	♦ J6		
	♣ 9752		
WEST		EAST	
♠ J10762		♠ 854	
♥ K9		♥ AQ76	
♦ KQ75		♦ A98	
♣ J6		♣ Q104	
	SOUTH		
	♠ K		
	♥ J852		
	♦ 10432		
	♣ AK83		

9番ボードで再びハケット息子が1NTのディクレアラーとなり、戦闘開始。原がダイヤモンドをリードしたので8トリックを勝ち、賭け金を120点まで上げる。パパは今回は参戦せず、Wの2♣となる。ディフェンダーはクラブの2トリックとトランプの4トリックを勝って1ダウンは100点。イギリスが6IMPを獲得して30-24と再びリード。

Bd: 12	NORTH		
DLR: W	♠ 54		
VUL: N/S	♥ AKJ9		
	♦ J2		
	♣ Q5432		
WEST		EAST	
♠ 7632		♠ 98	
♥ 1032		♥ Q8765	
♦ AK53		♦ Q109	
♣ 109		♣ A76	
	SOUTH		
	♠ AKQJ10		
	♥ 4		
	♦ 8764		
	♣ KJ8		

NSの田多井・原は2♠しかビッドせず、♦Kのリードで5メイク、プラス200。アームストロング・ハケットは3NTまでビッド、現がブロックしているので3メイク、プラス600。イギリスに9IMP、39-24。

しかし第1セッションはまだ終わらず、久富チームが最後の直線コースでねばりを見せる。

Bd: 14	NORTH		
DLR: E	♠ AJ9653		
VUL: None	♥ QJ95		
	♦ ---		
	♣ J86		
WEST		EAST	
♠ KQ7		♠ 42	
♥ 103		♥ K874	
♦ QJ106		♦ A52	
♣ AK107		♣ 9532	
	SOUTH		
	♠ 108		
	♥ A62		
	♦ K98743		
	♣ Q4		

N(田多井)の2♠ダブル。良い知らせと悪い知らせがあるコントラクト。良い知らせは♥4のリードが来るのでハートのゲスがいらぬこと。悪い知らせはそれにもかかわらずハートのルーザーが残ること。悪い知らせはWのトランプをつかまえるためにダミーに渡れないこと。良い知らせはダミーでクラブをラフさせないためにディフェンダーがトランプを出すので、トランプは1ルーザーしか出ないこと。良い知らせはトランプリードを受けても、Wがクラブのアナーを2枚とも持っているため、ダミーからクラブをリードするとJがウィナーに昇格すること。悪い知らせはNがそのプレイをしなかったこと。良い知らせはそれにもかかわらずコントラクトがメイクしたこと。久富チームにプラス470。

クローズドルームではSのパパハケットが6-0フィットの2♦をプレイ。このコントラクトは悪い知らせしかない。ハートスイートをノールーザーに抑えることはできるものの、クラブ2ルーザー、スペード1ルーザー、トランプ3ルーザー(♦Qのリード)は如何ともしがたく、1ダウンでマイナス50。久富チームが11IMPを獲得、39-35と4点差に迫る。

Bd: 16	NORTH		
DLR: W	♠ 6		
VUL: E/W	♥ 73		
	♦ AQJ9865		
	♣ 1087		
WEST		EAST	
♠ A4		♠ Q108	
♥ A98642		♥ KQJ5	
♦ K3		♦ 742	
♣ A62		♣ Q54	
	SOUTH		
	♠ KJ97532		
	♥ 10		
	♦ 10		
	♣ KJ93		

第1セッションの最終ボードも久富チームの勝ち。オープンルームではW(ハケット)が4♥をプレイしたが2ダウン、マイナス200。クローズドルームではS(ハケットパパ)が4♠ダブルをプレイ、マイナス300。久富チームが11IMPを取って46-39とリード。

明日のブレティンで、イギリス対久富チームの第2クォーターを続けよう。